

白井市男女共同参画に関する住民意識調査 ご協力をお願い

白井市では、男女共同参画に関する計画の見直しを行うにあたり、市民の皆様のご意見やニーズを伺うため、アンケート調査を実施いたします。

この調査の集計結果をもとに、性別に縛られず誰もが自分らしく輝ける市の実現を目指していきたいと考えております。

調査の趣旨にご理解いただき、本調査にご協力をお願いいたします。

令和6年11月

白井市長 笠井 喜久雄

あなたの声で、白井市の未来をよりよく！

12月6日(金)までに、ご回答をお願いします。

回答に要する時間は15分程度です。

▼インターネットで回答する場合



QRコードまたはURLから回答フォームにアクセスしてください。

※途中保存はできませんので、お時間の余裕がある際にご回答ください。

https://questant.jp/q/shiroi_danjo_shimin_2024

▼紙の調査票で回答する場合

- ① 本調査票に回答を直接ご記入ください。
 - ② 同封の返信用封筒(切手不要)に入れてポストにご投函ください。
- ※差出人の名前を書く必要はありません。

■回答はあてはまる番号を○で囲んでください。質問によって、1つだけ○をつけるものと、複数に○をつけるものがあります。また、「その他()」に該当する場合は、()の中に具体的にご記入ください。

■この調査は、住民基本台帳から無作為抽出した白井市在住の満18歳以上(令和6年10月1日現在)の方 2,000 人を対象にご協力をお願いするものです。回答の内容は統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。

問い合わせ先

白井市役所 市民環境経済部 市民活動支援課 市民活動支援係
電話:047-401-4078 FAX:047-491-3551



1 家庭生活について

問1 あなたが理想とする男女の役割分担に、最も近いものはどれですか。また、現在のご家庭の状況（一人暮らしの人は、これまでの家庭での状況）に、最も近いものはどれですか。※家事には、育児・介護を含みます。（A～Bについて、それぞれ選択肢1～7から1つずつ○）

	男性が働き、女性が家事全般をする	女性が働き、男性が家事全般をする	男性女性が共に働き、家事全般は主として女性がする	男性女性が共に働き、家事全般は主として男性がする	男性女性が共に働き、家事全般も男性女性が共にする	特に何も決めず、できる人ができることをする	わからない
A 理想は	1	2	3	4	5	6	7
B 現実には	1	2	3	4	5	6	7

2 仕事について

問2 あなたは、収入の得られる仕事や、家庭内における家事（育児・介護を含む）などに1日平均どのくらい時間をあてていますか。（A～Cについて、それぞれ選択肢1～7から1つずつ○）

	8時間以上	6～7時間くらい	4～5時間くらい	2～3時間くらい	1時間くらい	30分未満	していない、ほとんどしない
A 収入の得られる仕事	1	2	3	4	5	6	7
B 家庭内の家事（育児・介護を含む）など【平日】	1	2	3	4	5	6	7
C 家庭内の家事（育児・介護を含む）など【休日】	1	2	3	4	5	6	7

※問2「A 収入の得られる仕事」で「7 していない、ほとんどしない」と答えた方にうかがいます。

問2-1 あなたは、今後仕事をしたいと思いますか。（1つに○）

1. 常勤で働きたい	2. パート・アルバイトで働きたい
3. 自分で事業をはじめたい	4. 家の仕事（家業）を手伝いたい
5. したいができないと思う	6. 働きたいと思わない

※問2「A 収入の得られる仕事」で「1」～「6」と答えた方にうかがいます。

問2-2 今どのような形で働いていますか。(1つに○)

- | | |
|----------------------------------|------------------------|
| 1. 事業主 | 2. 正規社員 |
| 3. 非正規社員（嘱託、契約社員、パートタイム、アルバイトなど） | 4. 家族従事者（家業の店や農業などに従事） |
| 5. その他（ ） | |

問2-3 あなたの在宅勤務（テレワーク）の実施状況はどれですか。※直近3か月（令和6年8月～10月）を想定してお答えください。(1つに○)

- | | |
|-------------|---------------------|
| 1. 週に4日以上 | 2. 週に3日程度 |
| 3. 週に1～2日程度 | 4. 月に1～2日程度 |
| 5. それ以下の頻度 | 6. テレワークをしていない、できない |
| 7. その他（ ） | |

問2-4 あなたの育児・介護に関するいずれかの休暇制度の取得状況はどれですか。(1つに○)

- | | |
|------------------------|----------------------------|
| 1. 取得した・取得中である・取得予定である | 2. 制度はあるが、取得したことはない |
| 3. 制度について知らなかった | 4. 該当しない（子ども、介護が必要な親族はいない） |
| 5. その他（ ） | |

問2-5 あなたの職場では、社員（職員）が有給休暇や育児・介護休業を取りやすい環境にありますか。(1つに○)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 取りやすい | 2. どちらかといえば取りやすい |
| 3. どちらかといえば取りにくい | 4. 取りにくい |
| 5. わからない | |

問2-6 あなたは、管理職以上に昇進したいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 積極的に昇進したい ⇒問3へ | 2. 機会があれば昇進したい ⇒問3へ |
| 3. あまり昇進したくない | 4. 昇進したくない |
| 5. 既に管理職以上である ⇒問3へ | 6. わからない ⇒問3へ |

※問2-6で「3」～「4」と答えた方にうかがいます。

問2-6-1 昇進したくないと思う理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 自分自身で決定する事柄が多くなるから | 2. やるべき仕事が増えるから |
| 3. 責任が重くなるから | 4. ねたみや嫉妬で足を引っ張られるから |
| 5. 仕事と家庭生活の両立が困難になるから | 6. その他（ ） |
| 7. 特に理由はない | 8. わからない |

※ここからは全員がお答えください。

問3 女性の働き方についてあなたの考えに最も近いものは次のうちどれですか。(1つに○)

1. 結婚する、しないにかかわらず、女性は働きに出ないで家にいた方がよい
2. 出産や育児を機に退職して家事や育児に専念した方がよい
3. 家事や育児が忙しい時期には休・退職し、子どもが大きくなってから再び働くのがよい
4. 出産や育児にかかわらず、仕事をもち続けた方がよい
5. 必要に応じて、臨時にパートやアルバイトをするのがよい
6. その他 ()
7. わからない

問4 育児や介護があっても仕事を継続できるようにするにはどのような援助や対策が望まれると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 育児や介護のとき、家族の理解・協力を得ること
2. 育児や介護との両立について、職場内の同僚・上司の理解が得やすいこと
3. 配属や仕事の内容に他の従業員と差を設けないこと
4. 待遇（給与、昇進）に他の従業員と差がないようにすること
5. 育児・介護を行う社員の雇用機会や採用数を同等にすること
6. 保育・介護施設や保育・介護制度が充実していること
7. 病人や高齢者の世話が家族のだれか一人に任されないようにすること
8. 出産や育児、介護を機に家族のうちだれかが仕事を辞めることのないようにすること
9. 育児休業や介護休業等が取りやすいこと
10. その他 ()
11. わからない



3 ワーク・ライフ・バランスについて

※問2「A 収入の得られる仕事」で「1」～「6」と答えた方にうかがいます。

問5 生活の中での、仕事・家事（育児・介護を含む）・プライベートな時間（地域活動・学習・趣味・付き合いなど）の優先度について、「理想」と「現実」のそれぞれの視点で、あなたのお考えや現状に最も近いものはどれですか。（A～Bについて、それぞれ選択肢1～8から1つずつ○）

	仕事優先	家事優先	プライベート時間優先	仕事と家事優先	仕事とプライベート優先	家事とプライベート優先	仕事・家事・プライベートを両立	わからない
A理想は	1	2	3	4	5	6	7	8
B現実	1	2	3	4	5	6	7	8

問6 あなたにとって、仕事・家事（育児・介護を含む）・プライベートな時間のバランスは、うまくとれていると思いますか。（1つに○）

1. うまくとれている ⇒問7へ 2. ややとれている ⇒問7へ
3. あまりとれていない 4. まったくとれていない 5. わからない

※問6で「3」～「4」と答えた方にうかがいます。

問6-1 仕事・家事（育児・介護を含む）・プライベートな時間のバランスがうまくとれていない理由は何だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1. うまく時間配分ができないから
2. プライベートな時間に必要以上に時間を費やしてしまうから
3. 家族の理解や協力が得られないから
4. 職場の理解や協力が得られないから
5. 世間に、「男性は仕事、女性は家庭」という風潮や固定観念があると感じるから
6. 家事、育児、介護等をしなければならないから
7. 子どもを預ける場所がなかったり、不足したりしているから
8. 生活のため、仕事（収入）を優先せざるを得ないから
9. 仕事が忙しい、残業が多い、休めない、通勤時間がかかる等の理由で、時間がないから
10. 近くにスポーツ・文化施設が少ないから
11. 社会制度や環境が整っていないから
12. その他（ ）
13. わからない

4 男女共同参画に関する意識について

※ここからは全員がお答えください。

問7 次の各項目で、男女は対等な立場にあると思いますか。お考えに最も近い段階を選んでください。(A～Hについて、それぞれ選択肢1～5から1つずつ○)

	男性の方が非常に 優遇されている	どちらかといえば 男性の方が優遇さ れている	対等になっている	どちらかといえば 女性の方が優遇さ れている	女性の方が非常に 優遇されている	わからない
A 学校教育の場合	1	2	3	4	5	6
B 地域活動の場合（自治会、ボランティア等）	1	2	3	4	5	6
C 家庭生活	1	2	3	4	5	6
D 職場	1	2	3	4	5	6
E 社会通念・慣習など	1	2	3	4	5	6
F 法律や制度の上	1	2	3	4	5	6
G 政治の場合	1	2	3	4	5	6
H 全体として今の日本では	1	2	3	4	5	6

問8 男女平等をいっそう進めるため、日ごろから心がけていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 「男性は仕事、女性は家庭」と、性別によって役割を決めつけない
2. 家事や育児、介護などを、男女で協力し合う
3. 自ら収入を得て、身の回りのことは自分で行う
4. 男の子、女の子を差別しない子育て・教育をする
5. 社会のいろいろな出来事に目を向けるようにする
6. 政治経済や社会情勢に目を向ける
7. 「男らしく」「女らしく」というような押しつけをしない
8. 性別を気にせず、自分の個性や好みに合った服装や髪型を選ぶ
9. その他（ ）
10. 特に何もない



問9 次のA～L の言葉を知っていますか。それぞれの言葉について最も近い段階を選んでください。(A～Lについて、それぞれ選択肢1～3から1つずつ○)

	よく知っている	聞いたことはある	知らない
A 女子差別撤廃条約	1	2	3
B 育児・介護休業法	1	2	3
C 男女共同参画社会	1	2	3
D 刑法の性犯罪規定の改正	1	2	3
E ジェンダー	1	2	3
F LGBTQ+	1	2	3
G リプロダクティブ・ヘルス/ライツ	1	2	3
H ワーク・ライフ・バランス	1	2	3
I ポジティブ・アクション	1	2	3
J アンコンシャス・バイアス	1	2	3
K デートDV	1	2	3
L 生理の貧困	1	2	3

◆刑法の性犯罪規定の改正（令和5年7月13日施行）について

強制・準強制性交罪を「不同意性交罪」に一本化し、「不同意性交罪」の要件を「同意しない意思を形成、表明、もしくは全うすることが難しい状態」と定めたほか、性交同意年齢の見直し（原則13歳から16歳への引き上げ）等が盛り込まれています。

◆リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康・権利）とは

生殖に関する「健康」と「権利」のことです。「健康」としては、安全で満足できる性生活、安全な出産等が、「権利」としては、避妊・妊娠・中絶・出産の過程において、自ら「いつ」、「何人」、「子どもを産むか、産まないか」を決定する自由、性・生殖に関する適切な情報とサービスを得られる権利等が挙げられます。

◆ポジティブ・アクション（積極的改善措置）とは

家庭、職場、学校、地域その他の社会のあらゆる分野における活動に参画する機会に係る男女間の格差を改善するため必要な範囲内において、男女のいずれか一方に対し、その機会を積極的に提供することです。

◆アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）とは

固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込みのことです。

例)「性別」で任せる仕事や、役割を決めていることがある

男性から育児や介護休暇の申請があると、「奥さんは？」と咄嗟に思う

“親が単身赴任中です”と聞くと、まずは「父親」を思い浮かべる

問10 次のA～Cの言葉を知っていますか。それぞれの言葉について最も近い段階を選んでください。(A～Cについて、それぞれ選択肢1～3から1つずつ○)

	よく知って いる	聞いたこと はある	知らない
A 白井市男女平等推進行動計画	1	2	3
B 女性生き生き相談（白井市）	1	2	3
C 青少年女性センター（白井市）	1	2	3

5 ハラスメントやドメスティック・バイオレンス（DV）について

問11 これまで、ハラスメントを受けた経験はありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. セクシュアル・ハラスメント (セクハラ)	2. パワー・ハラスメント (パワハラ)
3. マタニティ・ハラスメント (マタハラ)	4. パタニティ・ハラスメント (パタハラ)
5. モラル・ハラスメント (モラハラ)	6. 性的指向や性自認に関するハラスメント (SOGIハラ)
7. その他 ()	8. ハラスメントを受けたことはない

◆マタニティ（パタニティ）・ハラスメントとは

働く女性が（「パタニティ」については配偶者等の）妊娠・出産をきっかけに職場で精神的・肉体的な嫌がらせを受けたり、不当な扱いを受けたりすること

問12 これまでに配偶者（事実婚や別居、離別を含む）や恋人などのパートナーから、次にあげるA～D のような経験がありますか。(A～D について、それぞれ選択肢1～4から1つずつ○)

	したことがある	されたことがある	したことも、 されたことも 両方ある	したことも、 されたことも 両方ない
A 身体的暴力	1	2	3	4
B 精神的暴力	1	2	3	4
C 性的強要	1	2	3	4
D 経済的圧迫	1	2	3	4

⇒問13へ

- ◇身体的暴力 なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなど
- ◇精神的暴力 人格を否定するような暴言、交友関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視したり、長期間無視するなどの精神的な嫌がらせ、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫など
- ◇性的強要 いやがっているのに、性的な行為を強要される、見たくないのにポルノ映像等を見せられる、避妊に協力しないなど
- ◇経済的圧迫 生活費を渡されない、貯金を勝手に使われる、外で働くことを妨害されるなど

※問 12 で「1」～「3」と1つでも答えた方にうかがいます。

問 12-1 そのとき、だれ、もしくはどこに相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--|--|
| 1. 市役所の相談窓口（女性生き生き相談、特設人権相談所、家庭児童相談室、こころの健康相談など） | 2. 千葉県の相談窓口（女性サポートセンター、男女共同参画センター、児童相談所など） |
| 3. 警察 | 4. 法務局 |
| 5. 民生委員・児童委員 | 6. 法律関係者（弁護士など） |
| 7. 医療関係者（医師、看護師、保健師など） | 8. 学校関係者（教員、養護教員、スクールカウンセラーなど） |
| 9. 民間の相談機関（民間シェルター・カウンセリング機関等） | 10. 家族や親戚 |
| 11. 友人・知人 | 12. その他（ ） |
| 13. どこ（だれ）にも相談しなかった ⇒問 12-3 へ | |

※問 12-1 で「1」～「12」と答えた方にうかがいます。

問 12-2 相談した際の手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------|-----------------|
| 1. 対面での相談 | 2. 電話での相談 |
| 3. メールでの相談 | 4. チャット、SNSでの相談 |
| 5. その他（ ） | |

※問 12-1 で「13 どこ（だれ）にも相談しなかった」と答えた方にうかがいます。

問 12-3 どこ（だれ）にも相談しなかった（できなかった）理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. どこ（だれ）に相談してよいのかわからなかった |
| 2. 相談窓口があるのを知らなかった |
| 3. SNSなどで相談したかったが、そのような窓口がなかった |
| 4. 恥ずかしくて誰にも言えなかった |
| 5. 相談しても無駄だと思った |
| 6. 相談するほどのことではないと思った |
| 7. 相談したことがわかると、仕返しをされたり、もっとひどい暴力を受けたりすると思った |
| 8. 自分さえ我慢すれば、このまま何とかやっていくことができると思った |
| 9. 相談したことが原因で別れたら、生活できないと思った |
| 10. 自分に悪いところがあると思った |
| 11. その他（ ） |
| 12. 特に理由はない |
| 13. わからない |

※ここからは全員がお答えください。

問13 あなたは、配偶者やパートナーからの暴力についてどのようにお考えですか。(1つに○)

1. 100%加害者に責任があり、許せないものである
2. 加害者の責任はもちろんだが、つい手が出てしまうという気持ちもわかる
3. 加害者に責任があるとしても、被害者側にも原因の一端があると思う
4. 双方の関係の問題であり、周りがとやかく言うべきではない
5. その他 ()
6. わからない

問14 あなたが、配偶者やパートナーからの暴力を防止するために、特に必要だと思うことは何ですか。(3つまで○)

1. 法律・制度の制定や見直しを行う
2. 犯罪の取り締まりを強化する
3. 被害者を支援し、暴力に反対する市民運動を盛り上げる
4. 被害者のための相談機関や保護施設を整備する
5. 加害者のための教育機関や相談窓口を整備する
6. 家庭における男女平等についての教育を充実させる
7. 学校における男女平等についての教育を充実させる
8. メディアが自主的取組を強化し、暴力を無批判に取り扱わないようにする
9. 過激な暴力表現を扱った映像、ゲームソフト等の販売、貸出や配信を制限する
10. その他 ()
11. わからない

6 性と生殖に関する健康・権利について

問15 あなたは、自分の身体の性別や心の性について悩んだりしたことはありますか。(1つに○)

- | | | |
|-------------------|----------------------|-----------|
| 1. ある | 2. 多少ある | 3. ほとんどない |
| 4. まったくない (一度もない) | 5. わからない (どちらとも言えない) | |

問16 あなたは、女性の生涯にわたる健康を守るために、性や妊娠・出産に関して女性自身で決めるうえで、特に何が必要だと思いますか。(2つまで○)

1. 子どもの成長と発育に応じた男女平等に基づく性教育・人権教育
2. 性や妊娠・出産についての情報提供・相談体制の充実
3. 喫煙や薬物など、男女の健康への害についての情報提供・相談体制の充実
4. 性感染症(HIV、カンジダ症、クラミジア感染症など)についての情報提供・相談体制の充実
5. 更年期についての情報提供・相談体制の充実
6. その他 ()
7. わからない

7 子育てや小中学校での教育について

問17 学校教育の中で男女平等の意識を深めるためには、特に何が大切だと思いますか。
(3つまで○)

1. 男性女性が共に、身の回りのことが自分でできるよう学べる機会を設ける
2. 男性女性が共に、経済的に自立できるような職業訓練や進路指導を受けられるようにする
3. 相手へのいたわりや理解が増すような性教育をする
4. 性差別や人種差別などに問題意識を持たせる
5. 国際交流や交換留学を活発にし、他国の事例や価値観を学ばせる
6. 教職員への男女平等研修を充実する
7. 保護者会や講演会を通して、保護者への男女平等への理解を深めてもらう
8. その他（ ）
9. 今のままでよい
10. わからない

問18 今の子どもたちには、男女平等の意識がどの程度浸透していると思いますか。(1つに○)

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 十分浸透している | 2. ある程度浸透している |
| 3. あまり浸透していない ⇒問19へ | 4. 浸透していない ⇒問19へ |
| 5. わからない | |

※問18で「1」～「2」と答えた方にうかがいます。

問18-1 浸透していると思う主な理由は、何ですか。(3つまで○)

1. 技術科・家庭科を男女が共に学ぶようになるなど、授業で男女の不要な区別がなくなったから
2. 学校での先生の接し方(名前の呼びかたなど)が変わったから
3. 混合名簿の採用で男子を上位とする風潮がなくなったから
4. 共働きが浸透したり、地域活動に男女関係なく参加したりするなど、親の意識が変わったから
5. 父親も家事・育児に参加するなど、父親の生き方や意識が変わったから
6. テレビやインターネット等で、性別にとらわれず自分らしく生きる男女の情報が提供されるから
7. 国・自治体の啓発が浸透しているから
8. 級長・部長・生徒会役員など、生徒の中の役員を男女が平等に担うようになったから
9. 国際化の浸透で、海外の男女平等の在り方が影響しているから
10. その他（ ）
11. 特に理由はない
12. わからない

※ここからは全員がお答えください。

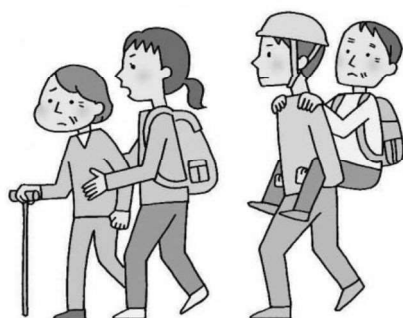
問22 地域活動（自治会やボランティア等）に、女性がリーダーとして参画することについてどのようにお考えですか。（1つに○）

- | | |
|----------------------------|----------------|
| 1. 女性も積極的に参画するほうがよい | 2. 男性に任せたほうがよい |
| 3. 女性が参画することには賛成だが、現実には難しい | 4. わからない |

10 防災・避難について

問23 これまでの災害において、女性と男性のニーズの違いなどが配慮されないといった課題が生じましたが、防災（災害復興も含む）活動に関して男女共同参画を推進していくために、必要だと思うことはどれですか。（A～H について、それぞれ選択肢1～5 から1つつ○）

	必要	どちらかといえば必要	あまり必要ではない	必要ない	わからない
A 防災訓練や防災研修会への女性の積極的な参加に努める	1	2	3	4	5
B 母親教室、乳幼児教室、PTA活動等、女性が多く集まる場での研修・訓練	1	2	3	4	5
C 女性消防職員や女性消防団員の育成、役員への女性の登用	1	2	3	4	5
D 地域の自主防災活動の運営に関する女性の積極的な参加	1	2	3	4	5
E 災害時ボランティア登録など多様な人材の確保	1	2	3	4	5
F 女性や乳幼児等に配慮した避難所機能の確保	1	2	3	4	5
G 男女別のニーズに配慮した避難所などでの支援マニュアルの充実	1	2	3	4	5
H 避難所運営の際の女性リーダーの配置	1	2	3	4	5



11 白井市への要望について

問24 男女の共同参画を進めるため、これから市が特に力を入れて取り組むべきことは何だ
と思いますか。(5つまで○)

1. 男女共同参画についての学習講座を開くなど、社会教育を充実させる
2. すべての施策に男女共同参画の視点を取り入れる
3. 市全体の男女共同参画を推進するための条例を制定する
4. パートナーシップ宣誓制度やファミリーシップ制度を導入する
5. 市の審議会など、施策を決定する場に女性の参加をもっと増やす
6. 学校での男女平等教育を進める
7. 女性の就労を支援するために、情報提供や職業訓練の場を充実させる
8. 保育所や学童保育など、地域の子育て環境を整える
9. 訪問介護、ショートステイ、デイサービスなどの介護サービスを充実させる
10. 市に男女共同参画を推進するための専門部署を設置する
11. 関連ある情報を積極的に提供する
12. 相談やカウンセリング機能を充実する
13. ひとり親（母子・父子）家庭を援助する
14. 男性が家庭生活で自立できたり、地域活動に参加できたりするような活動を進める
15. 女性の視点に配慮した防災・災害対策を行う
16. その他（ ）
17. 特に何もない（力を入れる必要がない）
18. わからない

◆パートナーシップ宣誓制度とは

自治体が同性同士のカップルを婚姻に相当する関係と認め、証明する制度

◆ファミリーシップ制度とは

パートナーシップ宣誓制度で証明されたカップルの子どもを家族として認定する制度

あなたご自身のことについておたずねします。

F1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

- | | | | |
|-------|-------|--------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 | 4. 無回答 |
|-------|-------|--------|--------|

F2 あなたの年齢をお答えください。(数字をご記入ください。)

歳 (11月1日時点)

F3 あなたは現在、結婚(事実婚を含む)していますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------------------------|------------------------|
| 1. している (事実婚またはパートナーを含む)
⇒F4 へ | 2. していない (離別)
⇒F4 へ |
| 3. していない (死別)
⇒F4 へ | 4. していない (未婚)
⇒F4 へ |

※F3で「1. している (事実婚またはパートナーを含む)」と答えた方にうかがいます。

F3-1 あなたの世帯は、共働きですか。(1つに○)

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 共働き | 2. 夫 (またはパートナー) だけ働いている |
| 3. 妻 (またはパートナー) だけ働いている | |

F4 あなたは、現在どちらの地区にお住まいですか。(わからない場合は、自宅から一番近い小学校に○をつけてください) (1つに○)

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 1. 白井第一小学校区 | 2. 白井第二小学校区 | 3. 白井第三小学校区 |
| 4. 大山口小学校区 | 5. 清水口小学校区 | 6. 南山小学校区 |
| 7. 七次台小学校区 | 8. 池の上小学校区 | 9. 桜台小学校区 |

F5 主なお仕事はどれですか。(1つに○)

- | | |
|-----------------------------|----------------------|
| 1. 農林業 | 2. 商店・工場・サービス業などの自営業 |
| 3. 会社または団体の役員 | 4. 医師・弁護士などの自由業 |
| 5. 会社・商店・工場・サービス業などの勤め人 | 6. 官公庁・学校などの公務員 |
| 7. パート、アルバイト、派遣、内職などの臨時的な仕事 | 8. 専業主婦 (主夫) |
| 9. 学生 | 10. 無職⇒F7 へ |
| 11. その他 () | |

F6 主な仕事場(学校)はどちらですか。(1つに○)

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. 自宅 | 2. 白井市内 |
| 3. 白井市以外の印旛郡市 | 4. その他の県内 |
| 5. 東京都 | 6. 東京都を除く県外 |
| 7. その他 () | |

F7 あなたの同居している家族の構成をお答えください。(1つに○)

- | | |
|-----------------------------------|----------|
| 1. ひとり暮らし(同居の家族はいない)
⇒回答は以上です。 | 2. 夫婦のみ |
| 3. 親と子 | 4. 親と子と孫 |
| 5. その他 () | |

※F7で「2」～「4」と答えた方にうかがいます。

F7-1 同居されている方に、次のような方はいますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 就学前の子ども | 2. 小学生の子ども |
| 3. 中学生・高校生の子ども | 4. 介護を必要とする方 |
| 5. 介護を必要としない65歳以上の方 | 6. 同居者にあてはまるものはいない |

アンケート調査へのご協力、ありがとうございました。

記入もれがないかご確認のうえ、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに **12月6日(金)**までにポストにご投函ください。

※パソコンやスマートフォン等からご回答された方は、紙の調査票は返送しないでください。



白井市では、男女共同参画に関する計画の見直しを行うにあたり、本アンケート調査に加え、意見交換会(ワークショップ)を開催します。

今後、市広報等で開催の案内をしますので、よろしければご参加ください。

白井市男女共同参画に関する市内在勤者調査 ご協力をお願い

白井市では、男女共同参画に関する計画の見直しを行うにあたり、市民の皆様のご意見やニーズを伺うため、アンケート調査を実施いたします。

この調査の集計結果をもとに、性別に縛られず誰もが自分らしく輝ける市の実現を目指していきたいと考えております。

調査の趣旨にご理解いただき、本調査にご協力をお願いいたします。

令和6年11月

白井市長 笠井 喜久雄

あなたの声で、白井市の未来をよりよく！

12月6日(金)までに、ご回答をお願いします。

回答に要する時間は15分程度です。

▼インターネットで回答する場合



QRコードまたはURLから回答フォームにアクセスしてください。

※途中保存はできませんので、お時間の余裕がある際にご回答ください。

https://questant.jp/q/shiroi_danjo_kigyoku_2024

▼紙の調査票で回答する場合

- ① この調査票に回答を直接ご記入ください。
- ② 同封の返信用封筒(切手不要)に入れてポストにご投函ください。
※差出人の名前を書く必要はありません。

■回答はあてはまる番号を○で囲んでください。質問によって、1つだけ○をつけるものと、複数に○をつけるものがあります。また、「その他()」に該当する場合は、()の中に具体的にご記入ください。

■この調査は、市内在勤者 500 人を対象にご協力をお願いするものです。回答の内容は統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。

問い合わせ先

白井市役所 市民環境経済部 市民活動支援課 市民活動支援係
電話:047-401-4078 FAX:047-491-3551



1 家庭生活について

問1 あなたが理想とする男女の役割分担に、最も近いものはどれですか。また、現在のご家庭の状況（一人暮らしの人は、これまでの家庭での状況）に、最も近いものはどれですか。
※家事には、育児・介護を含みます。（A～Bについて、それぞれ選択肢1～7から1つずつ○）

	男性が働き、女性が家事全般をする	女性が働き、男性が家事全般をする	男性女性が共に働き、家事全般は主として女性がする	男性女性が共に働き、家事全般は主として男性がする	男性女性が共に働き、家事全般も男性女性が共にする	特に何も決めず、できる人ができることをする	わからない
A 理想は	1	2	3	4	5	6	7
B 現実には	1	2	3	4	5	6	7

2 仕事について

問2 あなたは、収入の得られる仕事や、家庭内における家事（育児・介護を含む）などに1日平均どのくらい時間をあてていますか。（A～Cについて、それぞれ選択肢1～7から1つずつ○）

	8時間以上	6～7時間くらい	4～5時間くらい	2～3時間くらい	1時間くらい	30分未満	していない、ほとんどしない
A 収入の得られる仕事	1	2	3	4			
B 家庭内の家事（育児・介護を含む）など【平日】	1	2	3	4	5	6	7
C 家庭内の家事（育児・介護を含む）など【休日】	1	2	3	4	5	6	7

問3 あなたが仕事をしている理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 家族の生活を支えるため	2. 家計を補うため
3. 親から家業を受け継いだため	4. 趣味や余暇活動を充実させるため
5. 自分だけの小遣いがほしいため	6. 将来に備えて貯蓄するため
7. 仕事が楽しく、気に入っているため	8. 自分の技能や知識などを活かすため
9. 自分の夢や目標のためにスキルアップするため	10. 社会との関わりを持ちたいため
11. 社会に貢献したいため	12. 働くことは当たり前だと思うため
13. 他にすることがなく時間があるため	14. その他（ ）

問4 女性の働き方についてあなたの考えに最も近いものは次のうちどれですか。(1つに○)

1. 結婚する、しないにかかわらず、女性は働きに出ないで家にいた方がよい
2. 出産や育児を機に退職して家事や育児に専念した方がよい
3. 家事や育児が忙しい時期には休・退職し、子どもが大きくなってから再び働くのがよい
4. 出産や育児にかかわらず、仕事を持ち続けた方がよい
5. 必要に応じて、臨時にパートやアルバイトをするのがよい
6. その他 ()
7. わからない

問5 育児や介護があっても仕事を継続できるようにするにはどのような援助や対策が望まれると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 育児や介護のとき、家族の理解・協力を得ること
2. 育児や介護との両立について、職場内の同僚・上司の理解が得やすいこと
3. 配属や仕事の内容に他の従業員と差を設けないこと
4. 待遇（給与、昇進）に他の従業員と差がないようにすること
5. 育児・介護を行う社員の雇用機会や採用数を同等にすること
6. 保育・介護施設や保育・介護制度が充実していること
7. 病人や高齢者の世話が家族のだれか一人に任されないようにすること
8. 出産や育児、介護を機に家族のうちだれかが仕事を辞めることのないようにすること
9. 育児休業や介護休業等が取りやすいこと
10. その他 ()
11. わからない

3 ワーク・ライフ・バランスについて

問6 生活の中での、仕事・家事（育児・介護を含む）・プライベートな時間（地域活動・学習・趣味・付き合いなど）の優先度について、「理想」と「現実」のそれぞれの視点で、あなたのお考えや現状に最も近いものはどれですか。(①～②について、それぞれ選択肢1～8から1つずつ○)

	仕事優先	家事優先	プライベートな時間優先	仕事と家事優先	仕事とプライベート優先	家事とプライベート優先	仕事・家事・プライベートを両立	わからない
A 理想は	1	2	3	4	5	6	7	8
B 現実	1	2	3	4	5	6	7	8

問7 あなたにとって、仕事・家事（育児・介護を含む）・プライベートな時間のバランスは、うまくとれていると思いますか。（1つに○）

1. うまくとれている 2. ややとれている
3. あまりとれていない 4. まったくとれていない 5. わからない

問8 あなたの在宅勤務（テレワーク）の実施状況はどれですか。※直近3か月（令和6年8月～10月）を想定してお答えください。（1つに○）

1. 週に4日以上 2. 週に3日程度 3. 週に1～2日程度
4. 月に1～2日程度 5. それ以下の頻度
6. テレワークをしていない、できない 7. その他（ ）

問9 あなたの職場でのワーク・ライフ・バランスの取り組みについて、どのように認識していますか。(それぞれ1つに○)

①現状

1. すでに十分取り組んでいる 2. 取り組んではいるが不十分
3. あまり取り組んでいない 4. 全く取り組んでいない
5. わからない

②今後の必要性

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 積極的に取り組むべき | 2. ある程度取り組むべき |
| 3. 現状のままで問題はない | 4. 取り組む必要がない |

問10 あなたの勤めているところでは、ワーク・ライフ・バランスの取り組みとして、どのようなことを実施していますか。また、実施できれば効果のある取り組みだと思われるものは何ですか。（それぞれあてはまるものすべてに○）

①実施している取り組み

1. 経営戦略などにワーク・ライフ・バランスを進める趣旨を盛り込んでいる
2. 育児休業や短時間勤務制度を利用しても評価の際に不利益にならないことをルール化している
3. ワーク・ライフ・バランスに関する情報提供・相談を行う組織・担当を設けている
4. 家庭の事情によっては、勤務地を考慮している
5. ノー残業デーを設けている
6. 従業員に対して作業の無駄をなくして、早く帰るように励行している
7. 従業員が休みをとりやすいように、従業員相互で業務を共有できるように工夫している
8. 従業員一人ひとりに対して、定期的に面談を実施している
9. 管理職を対象とした研修を実施している
10. その他（ ）
11. 特になし

②効果のあると思われる取り組み

1. 経営戦略などにワーク・ライフ・バランスを進める趣旨を盛り込む
2. 育児休業や短時間勤務制度を利用しても評価の際に不利益にならないことをルール化する
3. ワーク・ライフ・バランスに関する情報提供・相談を行う組織・担当を設ける
4. 家庭の事情によっては、勤務地を考慮する
5. ノー残業デーを設ける
6. 従業員に対して作業の無駄をなくして、早く帰るように励行する
7. 従業員が休みをとりやすいように、従業員相互で業務を共有できるように工夫する
8. 従業員一人ひとりに対して、定期的に面談を実施する
9. 管理職を対象とした研修を実施する
10. その他（ ）
11. 特にない

問Ⅱ 一般的に仕事と生活の両立をよりよくするために必要と思われるものは何ですか。(3つまで○)

1. 男女が共に家事等の家庭的責任を負うという意識改革
2. ライフスタイルに対する意識改革
3. 育児・介護休業を取得できる期間を延ばすなど、制度の充実
4. 管理職の意識、代替要員の確保など、制度を利用しやすい職場環境の整備
5. 育児・介護休業中の賃金や手当などの経済的支援を充実すること
6. 地域や職場内の保育所、学童保育の整備、保育時間の延長など保育内容の充実
7. 家事等の支援サービスの充実
8. 在宅勤務やフレックスタイム制度など、柔軟な勤務制度
9. 残業を減らすなど、年間労働時間を短縮すること
10. 育児や介護による仕事への制約を理由とした昇進などへの不利益な取扱いの禁止
11. パートタイマーなど非正規社員の労働条件の改善
12. 男女が共に仕事と家庭を両立していくことに対する、職場・家族など周囲の理解
13. 家事等に対する社会通念の変化
14. わからない
15. その他（ ）

4 職場について

問12 あなたは職場で次のような不満やストレスを感じることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自分の理想よりも労働時間や残業時間が長い
2. 自分の理想よりも収入が低い
3. 雇用が不安定で、いつ解雇になるかわからない
4. 休暇が取りにくい
5. 仕事や通勤で疲労がたまる
6. 職場での人間関係がうまくいかない
7. 仕事へのやりがいを感じられない
8. 男女による格差（待遇面・精神面）がある
9. 不満やストレスを感じることはない
10. その他（ ）

問13 あなたの職場には次のような男女差や性差がありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 採用数や採用基準などに男女差がある
2. 配属や仕事内容に男女差がある
3. 待遇（給与・昇進）に男女差がある
4. 男性にだけ残業や休日出勤がある
5. 出産や育児、介護を機に退社する女性が多い
6. 女性は雑用や補助的な仕事が多い
7. セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）がある
8. 男女格差は何もない
9. その他（ ）
10. わからない



問14 次のA～Oの各制度について、あなたは現在までに利用経験がありますか。また、今後の利用／導入をしてほしいと思いますか。(A～Oについて、「①利用経験」と「②今後の利用／導入」の状況を、それぞれ選択肢1～2から1つつ○)

	①利用経験			②今後の利用／導入	
	利用したことがある／利用している	利用したことはない		今後利用したい／導入してほしい	今後の利用／導入を望んでいない
A 産前産後休暇	1	2	⇒	1	2
B 通院休暇制度	1	2	⇒	1	2
C 妊婦の通勤緩和措置	1	2	⇒	1	2
D 妊娠障害休暇（つわり休暇）	1	2	⇒	1	2
E 育児休業制度、出生時育児休業（産後パパ育休）	1	2	⇒	1	2
F 短時間勤務制度	1	2	⇒	1	2
G フレックスタイム勤務制度	1	2	⇒	1	2
H 始業時刻の繰り上げ・繰り下げ	1	2	⇒	1	2
I 育児のためのテレワーク導入	1	2	⇒	1	2
J 所定外時間の労働の制限	1	2	⇒	1	2
K 育児時間	1	2	⇒	1	2
L 企業内保育	1	2	⇒	1	2
M 介護休業制度	1	2	⇒	1	2
N ボランティア休暇制度	1	2	⇒	1	2
O 生理休暇	1	2	⇒	1	2

問15 今、あなたに子どもが生まれたとしたら、育児休業を取得したいと思いますか。また、家族等の介護が必要になったとしたら、介護休業を取得したいと思いますか。（1つに○）

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 取得したいと思う ⇒問 16 へ | 2. 取得したいと思うが、取得しない |
| 3. 取得したいと思わない | |

※問15で「2」～「3」と答えた方にうかがいます。

問15-1 育児休業および介護休業を取得しない主な理由は何ですか。(3つまで○)

1. 職場の同僚の負担が増えて迷惑がかかると思うから
2. 仕事が忙しく取得できる状況にないから
3. 取得しにくい雰囲気が職場にあるから
4. 復帰後の職場や仕事の変化に対応できなくなると思うから
5. 昇任や評価等に影響すると思うから
6. 上司の理解が得られそうにないから
7. 制度を利用できるかわからないから
8. 仕事にやりがいを感じているから
9. 取得すると経済的に苦しくなると思うから
10. 周囲からのサポート体制があるから
11. パートナーの方が子育てまたは介護に適していると思うから
12. 家族に反対されるから
13. その他 ()
14. 特に理由はない
15. わからない

※ここからは全員がお答えください。

問16 家事(育児・介護を含む)への関わりが少ない男性が、より関わるができるようになるためには、特に何が必要だと思いますか。(3つまで○)

1. 仕事中心という社会全体のしくみを改めること
2. 男性が育児・介護休暇を取りやすくすること
3. 労働時間の短縮や、フレックスタイム制などを導入すること
4. 男性のための育児・介護講座を充実すること
5. 男性自身の意識を高めること
6. 男性が気軽に育児や介護について相談できる体制を充実すること
7. 仕事を持ちながら利用しやすい保育・介護施設を整えること
8. 育児や介護についての地域でのネットワークを整えること
9. 家庭で育児や介護について十分に話し合うこと
10. 男性の育児や介護参加を妨げる社会通念やしきたりを改めること
11. その他 ()
12. わからない

問17 あなたの現在の職層はどれですか。(1つに○)

- | | |
|--------------------|--------|
| 1. 管理職 (管理職手当がある者) | 2. 係長職 |
| 3. 主任 | 4. 一般職 |
| 5. その他 () | |

問18 あなたは、将来的にはどのような職層で働きたいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------------------|----------------|
| 1. 管理職 (管理職手当がある者)
⇒問19へ | 2. 係長職 |
| 3. 主任 | 4. 一般職 |
| 5. その他 () | 6. わからない ⇒問19へ |

※問18で「2」～「5」と答えた方にうかがいます。

問18-1 管理職になりたくない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 異動の幅が広がったり、頻繁になったりするのがいやだから |
| 2. 勤務時間が安定せず休暇も取りにくいから |
| 3. 管理職になると、人事管理が煩わしいから |
| 4. 管理職になると、責任が重くなるから |
| 5. 第一線で活躍したいと思わないから |
| 6. 現在の地位が自分に適しているから |
| 7. 家庭生活と両立しにくいから |
| 8. 地域活動や趣味の活動と両立しにくいから |
| 9. 自分の能力に不安があるから |
| 10. 配偶者より高い地位につきたくないから |
| 11. その他 () |
| 12. 特に理由はない |
| 13. わからない |

5 セクシュアル・ハラスメントについて

※ここからは全員がお答えください。

問19 職場において、セクシュアル・ハラスメントが起こる原因は何だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 相手を職場の対等なパートナーとしてみていないから |
| 2. 性的言動を相手が不快に思うことがわかっていないから |
| 3. 固定的な性別役割分担意識にとらわれすぎているから |
| 4. 職場内の日常的なコミュニケーションが不足しているから |
| 5. ハラスメントをする側に職業人としての自覚が足りないから |
| 6. 受ける側が毅然とした対応をしないから |
| 7. 一部にモラルの低い人がいるから |
| 8. その他 () |
| 9. わからない |

問20 あなたはこの数年間に、次のようなセクシュアル・ハラスメントを受けて不快に思ったり、他の人から直接相談を受けたりした経験がありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 性的関係の誘いを受けた
2. 体を触られたり、体をじろじろ見られた
3. 容姿についてのからかいや性的な冗談、質問をされた
4. 職場の飲み会などで、お酌やデュエットを強要された
5. 「ちゃん」「おじさん」「おばさん」などと呼ばれた
6. 結婚しない理由など、私生活に過度に立ち入る質問をされた
7. 職場のメールに「かわいいね」とか「食事に付き合って」といった内容が送られてきた
8. 職場に水着やヌードの写真を貼ったり、パソコンの壁紙として利用していた
9. 女性だからということでお茶くみや身の回りのことなどの雑用をさせられた
10. その他（ ）
11. 受けた経験はない

問21 あなたの職場には、セクシュアル・ハラスメントの相談を受け付ける窓口がありますか。(1つに○)

1. ある
2. ない
3. わからない

問22 あなたの職場におけるセクシュアル・ハラスメント対策への取り組みについて、どのように認識していますか。現状及び今後の必要性についてお答えください。(それぞれ1つに○)

①現状

1. すでに十分取り組んでいる
2. 取り組んではいるが不十分である
3. あまり取り組んでいない
4. 全く取り組んでいない

②今後の必要性

1. 積極的に取り組むべき
2. ある程度取り組むべき
3. 現状のままで問題はない

6 白井市への要望について

問23 男女の共同参画を進めるため、これから市が特に力を入れて取り組むべきことは何だ
と思いますか。(5つまで○)

1. 男女共同参画についての学習講座を開くなど、社会教育を充実させる
2. すべての施策に男女共同参画の視点を取り入れる
3. 市全体の男女共同参画を推進するための条例を制定する
4. パートナーシップ宣誓制度やファミリーシップ制度を導入する
5. 市の審議会など、施策を決定する場に女性の参加をもっと増やす
6. 学校での男女平等教育を進める
7. 女性の就労を支援するために、情報提供や職業訓練の場を充実させる
8. 保育所や学童保育など、地域の子育て環境を整える
9. 訪問介護、ショートステイ、デイサービスなどの介護サービスを充実させる
10. 市に男女共同参画を推進するための専門部署を設置する
11. 関連ある情報を積極的に提供する
12. 相談やカウンセリング機能を充実する
13. ひとり親（母子・父子）家庭を援助する
14. 男性が家庭生活で自立できたり、地域活動に参加できたりするような活動を進める
15. 女性の視点に配慮した防災・災害対策を行う
16. その他（ ）
17. 特に何もない（力を入れる必要がない）
18. わからない

◆パートナーシップ宣誓制度とは

自治体が同性同士のカップルを婚姻に相当する関係と認め、証明する制度

◆ファミリーシップ制度とは

パートナーシップ宣誓制度で証明されたカップルの子どもを家族として認定する制度

あなたご自身のことについておたずねします。

F1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

1. 男性 2. 女性 3. その他 4. 無回答

F2 あなたの年齢をお答えください。(数字をご記入ください。)

--

歳（11月1日時点）

F3 あなたの現在の就労形態をお答えください。(1つに○)

- | | |
|------------|----------------------------------|
| 1. 正規社員 | 2. 非正規社員(嘱託、契約社員、パートタイム、アルバイトなど) |
| 3. その他 () | |

F4 あなたは現在、結婚(事実婚を含む)していますか。(1つに○)

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. している(事実婚またはパートナーを含む) | 2. していない(離別)
⇒F5 へ |
| 3. していない(死別)
⇒F5 へ | 4. していない(未婚)
⇒F5 へ |

※F4で「1. している(事実婚またはパートナーを含む)」と答えた方にうかがいます。

F4-1 あなたの世帯は、共働きですか。(1つに○)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 共働き | 2. 夫(またはパートナー)だけ働いている |
| 3. 妻(またはパートナー)だけ働いている | |

F5 あなたの居住地をお答えください。(1つに○)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 白井市内 | 2. 白井市外の印旛郡市 |
| 3. その他の県内 | 4. 東京都 |
| 5. 東京都を除く県外 | 6. その他 () |

F6 あなたの同居している家族の構成をお答えください。(1つに○)

- | | |
|----------------------|----------|
| 1. ひとり暮らし(同居の家族はいない) | 2. 夫婦のみ |
| 3. 親と子 | 4. 親と子と孫 |
| 5. その他 () | |

※F6で「2」～「4」と答えた方にうかがいます。

F6-1 同居されている方に、次のような方はいますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 就学前の子ども | 2. 小学生の子ども |
| 3. 中学生・高校生の子ども | 4. 介護を必要とする方 |
| 5. 介護を必要としない65歳以上の方 | 6. 同居者にあてはまるものはいない |

アンケート調査へのご協力、ありがとうございました。

記入もれがないかご確認のうえ、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに **12月6日(金)**までにポストにご投函ください。

※パソコンやスマートフォン等からご回答された方は、紙の調査票は返送しないでください。



タイトル

白井市男女共同参画アンケート調査ご協力のお願い 白井市立の中学校2年生のみなさんへ

メッセージ

このアンケートは、性別にかかわらず誰もが自分らしく輝ける白井市をつくっていくために、みなさんの思いや知識をお聞きするものです。みなさんからの回答内容を参考にして、必要な取り組みを考えていきます。

アンケートには、みなさんの名前を入力するところはありません。

誰が回答したか、わからないようになっています。おうちの人や先生に回答を見られることはありませんので、正直に答えてください。問9以降にDV（暴力や身体・こころの性）に関する質問がありますが、意味のわからない質問や答えたくない質問は、答えなくてよいです。

みなさんのご協力をお願いします。

令和6年12月

白井市長 笠井 喜久雄

アンケートに答えるときのお願い

1. アンケートは自分で考えて答えてください。
2. 質問をよく読んで、自分の思いや考えにあてはまる番号を選んでください。
3. 「その他」を選んだ人は、その内容を入力してください。
4. 質問によっては、選んだ答えにより、次に進む質問が変わる場合があります。

同意文/ボタン

改ページ

あなたのこと

F1 性別（1つを選ぶ）

- 1 男性
- 2 女性
- 3 その他
- 4 無回答

改ページ

男女共同参画に関すること

問1 あなたは、次の男女共同参画に関する言葉のなかで、知っているものはありますか。（A～Fについて、それぞれ項目1～5から1つずつ選ぶ）

- 1 よく知ってい 2 少し知ってい 3 聞いたことは 4 知らない 5 わからない
る る ある

A 男女共同参画社会：性別にかかわらず、お互いを尊重し合い、誰もが職場、学校、家庭、地域などあらゆる分野で活躍できる社会のことです。

- 1 よく知ってい 2 少し知ってい 3 聞いたことは 4 知らない 5 わからない
る る ある

B ジェンダー：これが男らしい、これが女らしいと決めるなど、社会や文化の中でつくられた性別に対する考えのことです。

- 1 よく知ってい 2 少し知ってい 3 聞いたことは 4 知らない 5 わからない
る る ある

C ハラスメント：様々な場面における嫌がらせのことで、他者に対する発言・行動等が本人の意図には関係なく、相手を不快にさせたり、不利益を与えたりすることです。

- 1 よく知ってい 2 少し知ってい 3 聞いたことは 4 知らない 5 わからない
る る ある

D LGBTQ+：L レズビアン（女性同性愛者）、G ゲイ（男性同性愛者）、B バイセクシュアル（両性愛者）、T トランスジェンダー（心と体の性の不一致）、Q クエスチョニング（心の性や好きになる性が定まらないこと）の頭文字に加え、これらに限定されない多様な性のことを表す「+」を加えた、多様な性の在り方を表す言葉です。

- 1 よく知ってい 2 少し知ってい 3 聞いたことは 4 知らない 5 わからない
る る ある

E ワーク・ライフ・バランス：働き方の見直し等により、多様な選択（たく）が可能な社会をつくり、働く一人ひとりが意欲をもって、働きながら豊かさを実感して暮らせるようになることです。

- 1 よく知ってい 2 少し知ってい 3 聞いたことは 4 知らない 5 わからない
る る ある

F アンコンシャス・バイアス：気づかない思い込みのことです。例）消防士と聞くと、まず男性を思い浮かべることを指します。

改ページ

問2 あなたは、次の場面で、男性と女性の立場や地位は、平等になっていると思いますか。（A～Fについて、それぞれ項目1～5から1つずつ選ぶ）

A 学校生活

- 1 男性（男子）の方がかなり特別扱いされていると思う
2 どちらかといえば男性（男子）の方が特別扱いされていると思う
3 平等だと思う

- 4 どちらかといえば女性（女子）の方が特別扱いされていると思う
- 5 女性（女子）の方がかなり特別扱いされていると思う

B 地域での活動やボランティア等

- 1 男性（男子）の方がかなり特別扱いされていると思う
- 2 どちらかといえば男性（男子）の方が特別扱いされていると思う
- 3 平等だと思う
- 4 どちらかといえば女性（女子）の方が特別扱いされていると思う
- 5 女性（女子）の方がかなり特別扱いされていると思う

C 家庭生活

- 1 男性（男子）の方がかなり特別扱いされていると思う
- 2 どちらかといえば男性（男子）の方が特別扱いされていると思う
- 3 平等だと思う
- 4 どちらかといえば女性（女子）の方が特別扱いされていると思う
- 5 女性（女子）の方がかなり特別扱いされていると思う

D 世の中の考え

- 1 男性（男子）の方がかなり特別扱いされていると思う
- 2 どちらかといえば男性（男子）の方が特別扱いされていると思う
- 3 平等だと思う
- 4 どちらかといえば女性（女子）の方が特別扱いされていると思う
- 5 女性（女子）の方がかなり特別扱いされていると思う

E 政治の大臣や、政治上の物ごとの決め方

- 1 男性（男子）の方がかなり特別扱いされていると思う
- 2 どちらかといえば男性（男子）の方が特別扱いされていると思う
- 3 平等だと思う
- 4 どちらかといえば女性（女子）の方が特別扱いされていると思う
- 5 女性（女子）の方がかなり特別扱いされていると思う

F 全体として今の日本

- 1 男性（男子）の方がかなり特別扱いされていると思う
- 2 どちらかといえば男性（男子）の方が特別扱いされていると思う

- 3 平等だと思う
- 4 どちらかといえば女性（女子）の方が特別扱いされていると思う
- 5 女性（女子）の方がかなり特別扱いされていると思う

改ページ

問3 あなたは、今までに「女の子だから～しなさい（しちゃダメ）」「男の子だから～しなさい（しちゃダメ）」のように言われたことはありますか。（1つを選ぶ）

- 1 よく言われる
- 2 ときどきいわれる
- 3 言われたことはない

改ページ

この質問を表示する条件 Q9で1 よく言われるを選択した もしくは Q9で2 ときどきいわれるを選択した

※問3で「1」～「2」と答えた方

問3-1 どんなことについて言われましたか。（あてはまるものすべて選ぶ）

(複数選択)

- 1 言葉づかい
- 2 着ている服や髪型、身だしなみ
- 3 手伝い
- 4 食事のマナー
- 5 座り方や歩き方
- 6 勉強
- 7 スポーツや部活動
- 8 友達関係
- 9 泣いたとき
- 10 帰宅時間
- 11 その他

この質問を表示する条件 Q9で1 よく言われるを選択した もしくは Q9で2 ときどきいわれるを選択した

※問3で「1」～「2」と答えた方

問3-2 誰に言われましたか。（あてはまるものすべて選ぶ）

(複数選択)

- 1 祖父母世代
- 2 父母世代
- 3 兄弟・姉妹・友人世代
- 4 その他の世代

この質問を表示する条件 Q9で1 よく言われるを選択した もしくは Q9で2 ときどきいわれるを選択した

※問3で「1」～「2」と答えた方

問3-3 「女の子だから～しなさい（しちゃダメ）」「男の子だから～しなさい（しちゃダメ）」のように言われた時、どんな気持ちになりましたか。（1つを選ぶ）

- 1 いやな気持ちでした
- 2 その通りだと思った
- 3 何とも思わなかった、気にならなかった
- 4 その他

改ページ

問4 次の家族の役割について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。（A～Dについて、それぞれ項目1～5から1つずつ選ぶ）

A 家事（そうじやせんたく、料理など）

- 1 主に男性がした方がよい
- 2 どちらかといえば男性がした方がよい
- 3 男女ともに協力して行うべき
- 4 どちらかといえば女性がした方がよい
- 5 主に女性がした方がよい

B 子育てや子どものお世話

- 1 主に男性がした方がよい
- 2 どちらかといえば男性がした方がよい
- 3 男女ともに協力して行うべき
- 4 どちらかといえば女性がした方がよい
- 5 主に女性がした方がよい

C 家族のために働いて生活費を得ること

- 1 主に男性がした方がよい
- 2 どちらかといえば男性がした方がよい
- 3 男女ともに協力して行うべき
- 4 どちらかといえば女性がした方がよい
- 5 主に女性がした方がよい

D 祖父や祖母等の家族の介護

- 1 主に男性がした方がよい
- 2 どちらかといえば男性がした方がよい
- 3 男女ともに協力して行うべき
- 4 どちらかといえば女性がした方がよい
- 5 主に女性がした方がよい

改ページ

将来に関すること

問5 あなたは、将来誰と一緒に生活したいですか。（最も希望する項目1つを選ぶ）

- 1 夫・妻・恋人
- 2 父・母
- 3 祖父・祖母
- 4 兄弟・姉妹
- 5 友人や同じ趣味をもつ仲間
- 6 一人で暮らしたい
- 7 その他
- 8 わからない

問6 男性・女性が仕事をもつことについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。（1つを選ぶ）

【男性が仕事を持つことについて】

- 1 子どもができて、ずっと仕事を続ける方がよい
- 2 結婚するまでは仕事をもつ方がよい
- 3 子どもができるまでは、仕事をもつ方がよい
- 4 子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をもつ方がよい
- 5 仕事をもたない方がよい
- 6 その他
- 7 わからない

男性・女性が仕事をもつことについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。（1つを選ぶ）

【女性が仕事をもつことについて】

- 1 子どもができて、ずっと仕事を続ける方がよい

- 2 結婚するまでは仕事をもつ方がよい
- 3 子どもができるまでは、仕事をもつ方がよい
- 4 子どもができたらず仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をもつ方がよい
- 5 仕事をもたない方がよい
- 6 その他
- 7 わからない

問7 あなたは、将来、仕事でリーダーを任されたり管理職（部下をまとめたり、会社内全体のことはあつたりする人）になりたいと思いますか。（1つを選ぶ）

- 1 絶対になりたい
- 2 できればになりたい
- 3 できればなりたくない
- 4 絶対なりたくない
- 5 わからない

改ページ

他の選択肢と同時に選べない選択肢 8 特に理由はない

この質問を表示する条件 Q20で1 絶対になりたいを選択した もしくは Q20で2 できればになりたいを選択した

※問7で「1」～「2」と答えた方

問7-1 リーダーを任されたり管理職になりたいと思う理由はどれですか。（あてはまるものすべて選ぶ）

(複数選択)

- 1 責任をもった仕事をしたいから
 - 2 仕事にやりがいをもてそうだから
 - 3 自分の得意なことを十分に発揮（はつき）したいから
 - 4 会社に得意なことを認められたいから
 - 5 管理職になったら、家族が喜んでくれるから
 - 6 給料をたくさんもらえそうだから
 - 7 その他
-
- 8 特に理由はない

他の選択肢と同時に選べない選択肢 8 特に理由はない

この質問を表示する条件 Q20で3 できればなりたくないを選択した もしくは Q20で4 絶対なりたくないを選択した

※問7で「3」～「4」と答えた方

問7-2 リーダーや管理職になりたくないと思う理由はどれですか。（あてはまるものすべて選ぶ）

(複数選択)

- 1 責任が重くなりそうだから
- 2 仕事量が増えそうだから
- 3 働く時間が長くなりそうだから

- 4 自分の力では、難しいと思うから
- 5 人間関係が大変だと思うだから
- 6 仕事とプライベートの両立が難しいと思うから
- 7 その他
- 8 特に理由はない

選択できる数 0 ～ 3

他の選択肢と同時に選べない選択肢 26 考えたことがない・わからない

問8 あなたが将来なりたいと思う職業は何ですか。（選ぶのは3つまで）

(複数選択)

- | | |
|----------|--------------------------------|
| 1 美容師 | 14 科学者 |
| 2 消防士 | 15 建築家 |
| 3 警察官 | 16 銀行員 |
| 4 看護師 | 17 弁護士 |
| 5 医者 | 18 政治家 |
| 6 会社員 | 19 スポーツ選手 |
| 7 会社の社長 | 20 漫画家 |
| 8 デザイナー | 21 ユーチューバ ー |
| 9 芸能人 | 22 公務員（国や県・市町村の役所で働く） |
| 10 歌手 | 23 農家 |
| 11 運転士 | 24 専業主夫・主婦 |
| 12 学校の先生 | 25 その他
<input type="text"/> |
| 13 保育士 | 26 考えたことがない・わからない |

改ページ

性別や心の性に関すること

問9 あなたは、自分が男子または女子に生まれたことをどう思いますか。（1つを選ぶ）

- 1 よかったと思っている
- 2 ちがうほうがよかったと思っている
- 3 どちらともいえない

問10 問9のように思った理由はなんですか。（自由回答）

0文字

問11 あなたは、自分の身体の性別や心の性について悩んだりしたことはありますか。（1つを選ぶ）

- 1 ある
- 2 多少ある
- 3 ほとんどない
- 4 まったくない（一度もない）
- 5 わからない（どちらとも言えない）

[改ページ](#)

デートDVに関すること

問12 あなたは、「DV」を知っていますか。（1つを選ぶ）

※DVとは：配偶（ぐう）者（夫・妻）や親密な関係にある、もしくはあった者から振るわれる暴力のことで、なぐる、けるといった身体的な暴力だけでなく、言葉や態度、行動の制限なども含まれます。

- 1 どんなことが知っている
- 2 聞いたことはあるがわからない
- 3 まったく知らない

問13 あなたは、「デートDV」を知っていますか。（1つを選ぶ）

※デートDVとは：恋人同士の間で起こるDV（暴力）のことです。

- 1 どんなことが知っている
- 2 聞いたことはあるがわからない
- 3 まったく知らない

問14 デートDVについて詳しく知りたいと思いますか。（1つを選ぶ）

- 1 詳しく知りたいと思う
- 2 どちらかといえば知りたいと思う
- 3 どちらかといえば知らなくても良い

4 知りたいと思わない

改ページ

性教育に関すること

他の選択肢と同時に選べない選択肢 11 特に知りたいことはない 12 わからない

問15 あなたが、体や心について、学んでいきたいことは何ですか。（選ぶのはいくつでも）

(複数選択)

- 1 異性の体のしくみについて
- 2 異性の心について
- 3 思春期の心理について
- 4 男女の交際や恋愛、結婚について
- 5 妊娠・出産について
- 6 エイズや性感染症などの性に関する病気について
- 7 ジェンダーの多様性、L G B T Q+について
- 8 避妊の方法について
- 9 自分の性のあり方についての不安や悩みの相談の仕方について
- 10 その他
- 11 特に知りたいことはない
- 12 わからない

改ページ

白井市が取り組むべきこと

選択できる数 0 ～ 5

他の選択肢と同時に選べない選択肢 12 特に何もない（力を入れる必要がない） 13 わからない

問16 あなたは、性別にかかわらず、誰もが自分らしく輝けるまちにするために、白井市が特に力を入れて取り組むべきことは何だと思いますか。（5つまで選ぶ）

(複数選択)

- 1 市民に男女共同参画の大切さを伝える
- 2 男女共同参画について学ぶことができる講座を開く
- 3 学校で男女共同参画についての授業をする
- 4 パートナーシップ宣誓（せい）制度やファミリーシップ制度を導入する ※市役所が、同性同士で付き合っている二人や、その子どもを家族として認める制度
- 5 政治など、世の中の大事なことを決める場に女性がもっとかかわるようにする

- 6 性別にかかわらず職業や仕事の内容を選べるよう、会社などに呼びかける
- 7 仕事とプライベートのどちらも大切にできるような働き方を広める
- 8 男女ともに仕事と家庭を両立できるようにする
- 9 男女が共に平等に暮らせる社会を考えていくため、市役所がさらに様々な取り組みに力を入れる
- 10 悩んだり困っていることを相談できる場所をつくる
- 11 その他
- 12 特に何もなし（力を入れる必要がない）
- 13 わからない